

I 目指す学校像(基本理念)

普通科、理数科、衛生看護科、衛生看護専攻科および定時制課程を設置するスケールメリット（「大桑名」）を生かして「桑名から強くはばたく人づくり」を目指します。

【全体】

- 地域社会や保護者の多様な願いに応じて、桑員を支える学校の責務を果たします。
- 学科、課程の特色を生かして、多様で魅力ある学校をつくります。
- 長い伝統を強みとして、公教育への信頼を一層向上させます。

【普通科・理数科】

- 高い学力と健康でたくましい心身を併せ持ち、変化の激しい社会でリーダーシップを発揮できる創造性豊かな人間を育成します。
- 三重県を代表する進学校の一つとして、上級学校進学をめざす生徒の希望が3年間で実現する教育を推進します。
- 先進的な科学技術教育を取り入れ、科学技術立国のリーダーと成り得る人材を育成します。

【衛生看護科】

- 心身ともに健全で優れた看護サービスを提供できる能力を有する人間性豊かな看護師を養成します。

【定時制】

- 高校教育における基礎・基本を確実に修得し、自立できる社会人を育成します。

II 現状と課題

普通科・理数科は、創立100年を超えた伝統的な進学校としてさらに前進することが期待されています。入学する生徒のほぼ全員が進学希望で、毎年90%以上の生徒が国公立大学への進学を希望しています。生徒や保護者の要望に応えるため、今後も、学習指導と進路指導を中心に進学体制を充実させて国公立大学や難関私立大学への進路希望を実現する必要があります。また、部活動も盛んであり、進学校としての役割を果たしながら文武両道を目指す必要があります。

衛生看護科は、県内唯一の看護師を養成する5年一貫したカリキュラムにより、看護の基礎・専門科目を学び、卒業後に看護師国家試験の受験資格が最短で得られる大きな特色を持っています。今後は、本校との統合というメリットを生かして医療の高度化・専門化に対応した資質の高い看護師を養成するとともに、看護師国家試験の合格率100%を常に達成する必要があります。

定時制課程は、基礎学力に不安を残す生徒、引きこもりや不登校を経験している生徒、全日制高校から進路変更した生徒、外国籍生徒など多様な生徒が在籍しています。また、最近は中学卒業後の進路先の一つとして定時制に入学する生徒の割合も高くなっています。今後は、授業内容や指導方法の改善を図り基礎・基本の学力を定着させるとともに、働きながら学ぶという定時制の特色を生かしたキャリア教育を進める必要があります。

III 中長期的な重点目標

- 1 教科指導の充実と授業改善を進め、生徒の学力向上と確かな学力の修得に取り組みます。
- 2 入学から卒業までを見通した進路指導により生徒の進路希望の実現を図るとともに、勤労観や職業観を身につけるキャリア教育に取り組みます。
- 3 生徒指導、人権教育、健康教育を充実させ、生徒の心と体の健全な育成に取り組みます。

IV 本年度の行動計画

1 教科指導を充実させ、生徒の学力向上をはかる。

○学習指導

- ① 将来社会でリーダーシップを発揮出来るよう高い理想を持ち、その理想を実現するため確かな学力を身に付けさせます。

(1 学年)

【取組状況の指標】

- ・ 予習→授業→復習の学習のサイクルを早期に定着させる。このため、学年だよりや学習振り返りシートを活用し、学習に対する意識を改めさせる。

【達成状況の指標】

- ・ 1 学年末のスタディーサポートで学習時間平日 2 時間以上が 50 % 以上（昨年度は 46.5 %）、休日 3 時間以上が 65 % 以上（昨年度は 67.3%）にする。

(2 学年)

【取組状況の指標】

- ・ 成績が伸び悩んでいる生徒のより一層のバックアップを心がけ、上位層の生徒にはより発展的な内容に取り組みさせるなど、個々に応じた生徒対応を行う。

【達成状況の指標】

- ・ 各模擬試験において、全ての教科で過去 5 年間の成績を上まわることを目標とする。

(衛生看護科)

【取組状況の指標】

- ・ 学ぶ意欲を育てるために外部講師や卒業生を招いてのキャリア教育を年 3 回以上実施する。
- ・ 大桑名となった利点を生かし、専門教科だけでなく一般教科の先生方による小テストや確認テストを実施する。
- ・ 各テストにおいて、その結果を踏まえた生徒個々のレベルに対応した個別指導を行う。

【達成状況の指標】

- ・ 学習状況調査において、日々の勉強時間「30 分以上」と 70 % 以上の生徒が回答することを目指す。

(理数科)

【取組状況の指標】

- ・ 三重県版 S S H 事業を利用し、理数科合宿・理数科研修旅行・理数科講演会の内容を充実させ、理数科生徒による桑高体感講座での中学生に対する実験指導を実施する。

【達成状況の指標】

- ・ 各行事における理数科生徒の満足度調査で「やや満足」以上が 70 % になることを目指す。

- ② 希望者対象の課外授業を実施し、生徒の学力向上が実感できる課外授業づくりを目指します。

(進路指導部)

【取組状況の指標】

- ・ 土曜課外を隔週土曜日午前実施・月 2 回のペースで実施する。
- ・ 平日課外授業を 3 年は 4 月から、2 年は 10 月から実施する。
- ・ 夏季休業中 5 週間の課外授業を設定する。

【達成状況の指標】

- ・ 進路指導部が年度末に行う生徒アンケートの結果で生徒の満足度を指標とする。満足度 80 % を目指す。

- ③ 習熟度別指導等により、個々に応じたきめ細やかな指導で生徒の学力向上を図ります。

(定時制)

【取組状況の指標】

- ・ 1、2 年において国語、数学、英語の 3 教科で習熟度に応じた特別授業を実施し、基礎学力の向上を図る。

【達成状況の指標】

- ・生徒満足度 80 %以上を目指す。

2 生徒の進路希望実現をはかる。

○学習指導

- ① 生徒が主体的に学習する姿勢をはぐくむ環境作りを促進します。

(進路指導部)

【取組状況の指標】

- ・土曜日の有効活用のため、長期休業期間を除く毎土曜日に学校を開放して、自学自習できる環境を生徒に提供すると共に、できるだけ指導者がアドバイスできる体制を作る。

【達成状況の指標】

- ・土曜開放参加者の満足度 80 %を目指す。

○進路指導

- ① 生徒一人ひとりが自分の進路希望を明確にし、希望を実現させるために何をすべきかを認識させます。そしてその実現にむけて自ら努力できる力を身に付けさせます。

(3 学年)

【取組状況の指標】

- ・進路希望を明確にするため、「志望理由書」を完成させるための指導を行う。
- ・生徒が目標に向けた努力を継続できるよう、何をすべきか気づかせるためのきめ細かい面談や教科指導を行なう。

【達成状況の指標】

- ・「志望理由書」に記載した第一志望の学校に 60 %以上合格できることを目指す。

(定時制)

【取組状況の指標】

- ・生徒の実態に応じた進路指導を実施し、主体的に進路を選択できる力を身に付けさせる。

【達成状況の指標】

- ・生徒の有職率 80 %を目指す。

3 生徒の心と体の健全な育成に取り組む

○学習指導

- ① 生徒間の対話を深め、気づきが得られるような「総合的な学習の時間」を再考することで生徒の持つ思考力・発信力をより高め、協調性とリーダーシップを兼ね備えた状態を目指します。

(教務部)

【取組状況の指標】

- ・1年生はオープンキャンパスを利用した自主活動などを、2年生は修学旅行での班別行動を使った自主活動などを、3年生は校外研修会を使った自主活動などを行う。また、その他にも対話と気づきが大切であることを訴える講演会を実施する。

【達成状況の指標】

- ・「総合的な学習の時間」を振り返った生徒アンケートの中で、「この授業を通じて自身の成長が図られましたか」の項目で「はい」を選択する生徒が 80 %を超えることを目標とする。

- ② 大学入試に関連する知識だけでなく、一社会人としてよりよく生きるために必要な興味・関心を高めます。

(総務部)

【取組状況の指標】

- ・生徒昇降口のテレビ掲示板を活用し、社会に関する好奇心を引き出すようなクイズを年間 20 回発信する。毎回グループウェアデスクネッツで職員に問題を紹介し、興味を持ってもらい、問題を提供してもらうことで安定した問題更新を行う。

【達成状況の指標】

- ・上記クイズの答と解説の印刷物を50枚作成し、自由に持っていけるようにし、なくなることを目標とする。また年度末アンケートにおいて、「興味が持てた」という解答が50%（昨年度40.3%）を上回ることを目標とする。

（定時制）

【取組状況の指標】

- ・防災、環境、安全、健康、人権に関する総合学習を年間10回以上実施し生徒の生きる力を醸成する。

【達成状況の指標】

- ・生徒満足度について4段階でA、B合わせて80%以上を目指す。

③ 生徒の社会に対する興味・関心を高め、知的好奇心や多面的な視野を育むような読書環境を整えます。

（図書部）

【取組状況の指標】

- ・図書館便りの発行、特集本紹介コーナーの設置を月1回程度実施する。

【達成状況の指標】

- ・生徒一人当たりの蔵書貸出冊数が引き続き5冊以上になるようにする。

○生活指導

① 日ごろの生活習慣のリズムを整えることに重点をおき、自立した生活を送る事ができるよう指導します。

（生徒指導部）

【取組状況の指標】

- ・達成方法として、すべての授業日に毎朝10分校門にて指導する。（検査日は除く）

【達成状況の指標】

- ・全校遅刻延べ人数を昨年度より5%減少させる。

② 保健委員会活動を通じ、生徒自ら環境美化・安全・健康教育に取り組みます。

（保健部）

【取組状況の指標】

- ・保健委員へ自ら取り組むことの大切さを訴えるとともに、年間9回保健便りを発行する。
- ・保健委員による年間2回の美化活動を行う。

【達成状況の指標】

- ・保健委員の自主的な出席率90%を指標とする。

○人権教育

① 自分の内にある差別する心に気付き、「差別をしない、差別を許さない」という意識を高める。

（人権委員会）

【取組状況の指標】

- ・月1回、チェックリストを配信する。

【達成状況の指標】

- ・意識調査を行い、「人権に対する意識が深まった」と回答する生徒が80%以上になることを目標とする。

○学校運営の取り組み

① 本校の「さわやか教育」を学校窓口から広く発信します。

（事務部）

【取組状況の指標】

- ・本校教育への信頼度向上につなげるために、さわやか対応を心がける。

【達成状況の指標】

- ・年2回の窓口アンケートを実施し、窓口・電話対応満足度70%を目指す。